

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野		ため池の補強等		事業番号、事業名		3 県営ため池等整備		補助・単独別		国補		農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況					
1	たてうみ 藪の海  (諏訪市)	堤体工L=190m 取水施設工1箇所 余水吐工1箇所 波除護岸工L=190m  (工期:H21~H24)	堤体工L=(190)m 取水施設工(1)式 余水吐工1式	波除護岸工L=190m	波除護岸工L=190m	評価時 (当初) H21	90.2%	計画どおり進んでいる。 H24は波除護岸工を実施する。	堤体及び余水吐付近からの漏水が著しい。また下流域に民家・公共施設があることから早急な改修が必要である。 H22年度に引き続き堤体工等を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
		1億5520万円	2000万円	1520万円	1520万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	特記事項 特になし。  B/C(費用対効果)=19.06  住民参加状況等 各種調整等に積極的に関与し、施設の維持管理は地元区が実施している。						
2	かいげんじ 海善寺  (東御市)	堤体工L=217m 取水施設工2箇所 余水吐工1箇所 波除護岸工L=217m  (工期:H22~H24)	堤体工L=217m 取水施設工2箇所 波除護岸工L=217m	余水吐工1箇所	余水吐工1箇所	評価時 (当初) H22	76.0%	計画どおり進んでいる。 H24は余水吐工を実施する。	堤体からの漏水及び堤体の脆弱化が著しい。また下流域に民家・公共施設があることから早急な改修が必要である。 H23年度より堤体工等に着手し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
		5000万円	3000万円	500万円	500万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 特になし。  B/C(費用対効果)=2.33  住民参加状況等 各種調整等に積極的に関与しており、施設の維持管理は地元区が実施している。						
3	ならき 櫓の木  (茅野市)	堤体工 L = 61m 波除護岸工 L = 63m 土砂吐ゲート1箇所  (工期:H23~H25)	堤体工L=61m	波除護岸工L=61m	波除護岸工L=61m	評価時 (当初) H23	75.3%	計画どおり進んでいる。 H24は堤体工を実施する。	堤体からの漏水及び波除護岸の亀裂が著しい。また下流域に民家・公共施設があることから早急な改修が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」		
		5530万円	3000万円	2300万円	2530万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 特になし。  B/C(費用対効果)=1.65  住民参加状況等 ため池改修検討や各種調整等に積極的に関与しており、施設の維持管理は地元区が実施している。						
4	まつしげ 松倉池  (麻績村)	堤体工L=46m 取水施設工1箇所 洪水吐工1箇所 波除護岸工L=76m  (工期:H23~H25)	取水施設 1箇所	堤体工L=46m	堤体工L=46m 洪水吐工 1箇所 波除護岸工L=76m	評価時 (当初) H23	35.7%	計画どおり進んでいる。 設計等が完了し、取水施設から工事着手する。	堤体からの漏水や陥没が著しい。また下流域に民家・公共施設があることから早急な改修が必要である。	必要性が認められる。	「継続」		
		1億3000万円	4640万円	2260万円	8360万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 特になし。  B/C(費用対効果)=1.41  住民参加状況等 管理主体(水利組合)と隣接地権者とも、各種調整等に積極的に関与しており、事業への理解度が高い。						
合計	4箇所	3億9050万円	1億2640万円	6580万円	1億2910万円	A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満							

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		ため池の補強等				事業番号、事業名				3 県営ため池等整備(用排水施設整備)		補助・単独別		国補		農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針						
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況									
1	ながの 長野3期  (長野市)	排水路工 L=735m  (工期:H19~H24)	排水路工L=119m	排水路工L=79m	排水路工L=79m	評価時 (変更) H23	89.8%	計画どおり進んでいる。 計画区間の約90%(L=656m)が完了し、未着手 区間も計画的に実施する。	市街化が進み、流出変化により湛水被害が生じている。 H23年度から引き続き排水路工を実施し、H24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」						
						必要性 A	特記事項 H23変更・軟弱地盤改良が必要となり、その対策として事業費3億3210万円の増額となった。										
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.25										
						効率性 A											
緊急性 A	住民参加状況等 工事用地の借地交渉等に地域の住民が積極的に関与しており、維持管理は土地改良区が実施している。																
2	はしな 埴科5期  (千曲市)	排水路工L=265m 排水機場1箇所  (工期:H20~H24)	排水路工L=50m 排水機場(1)箇所 (ポンプ据付2基・樋門1基)	排水路工L=50m 排水機場1箇所 (ポンプ据付2基)	排水路工L=50m 排水機場1箇所	評価時 (当初) H20	91.8%	計画どおり進んでいる。 計画区間の約81%(L=215m)が完了し、未着手 区間と排水機場関係も計画的に実施する。	近年の異常気象により湛水被害が生じている。 H23年度から引き続き排水機場の建設及び排水路工を実施し、H24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」						
						必要性 A	特記事項 特になし。										
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.03										
						効率性 B											
緊急性 A	住民参加状況等 水路整備には地元小学生が参加するなど、地域住民の積極的な関与があり、維持管理は土地改良区が実施している。																
3	あまり 安茂里2期  (長野市)	用水路工 L=214m  (工期:H20~H24)	用水路工L=100m	付帯工 1式	付帯工 1式	評価時 (当初) H20	87.6%	計画どおり進んでいる。 水路トンネル内の基礎地盤改良及び、トンネル本 体工事が完了し、分水工の補修工事を実施す る。	漏水により泥岩が膨張し隧道内部が変形している。また、硫化水素等の影響を受けコンクリートの剥離が著しく改修の必要性が高い。 H23年度から引き続き用水路工を実施し、H24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」						
						必要性 A	特記事項 特になし。										
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.13										
						効率性 B											
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。																

分野	ため池の補強等	事業番号、事業名	3 県営ため池等整備(用排水施設整備)				補助・単独別	国補	農政部 農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	みお 美和  (伊那市)	用水路工L=435m  (工期:H20~H24)	用水路工L=347m	水路トンネル付帯工 1式	水路トンネル付帯工 1式	評価時 (当初) H20	71.0%	計画どおり進んでいる。 H22年度より水路トンネル工事を実施しており、 順調な進捗が図られている。	水路トンネル内で崩落が 発生しており、早期改修 が必要である。 H23年度から引き続き 用水路工を実施し、H24 年度完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.19				
						効率性 A					
	3億4500万円	1億3000万円	7000万円	7000万円	緊急性 A	住民参加状況等 地域住民や土地改良区から要望や意見を反映させた設計等を進 めており、維持管理は土地改良区が実施している。					
5	おおがわらせぎ 大河原堰  (茅野市)	用水路工L=1234m  (工期:H19~H24)	用水路工L=157m	用水路工L=95m	用水路工L=95m	評価時 (当初) H20	90.8%	計画どおり進んでいる。 計画区間の約93%(L=1,139m)が完了し、未着 手区間も計画的に実施する。	水路破損により周辺施 設へ与える被害が大きく 必要性が高い。 H23年度から引き続き 用水路工を実施し、H24 年度完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.18				
						効率性 A					
	2億2350万円	2300万円	2050万円	2050万円	緊急性 B	住民参加状況等 地域住民や土地改良区から要望や意見を反映させた設計等を進 めており、営農期は「堤総代」が毎日見廻りを行っている。					
合計	5箇所	37億3660万円	7億8900万円	4億1780万円	4億1780万円	A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満					

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		ため池の補強等(水路等の補強)				事業番号、事業名		3 県営ため池等整備(土地改良施設耐震対策)		補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況							
1	りょうさい 竜西  (1期)  〔飯田市、 松川町、 高森町〕	水路橋耐震補強工 (1箇所) L=65m サイフォン耐震補強 工(2箇所) L=2,269m  (工期:H21~H25)	水路橋耐震補強工 L=65m サイフォン耐震補強 工 L=504m	サイフォン耐震補強 工 L=531m	サイフォン耐震補強 工 L=1,007m	評価時 (当初) H21	55.6%	計画どおり進んでいる。 H24年度も引き続きサイフォン耐震補強工を 実施する。	東海地震の防災対策 強化地域に指定されて いるため、大規模地震発 生に備え早急に耐震補 強を行う必要がある。 ここ数年は毎年のように 小規模な破管が頻発し ており緊急性が高まって いるため、事業進捗を 図る必要がある。	必要性、重要性、緊急性 が高い。	「継続」				
		10億2800万円	2億4200万円	1億5400万円	4億5600万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=3.26							
合計	1箇所	10億2800万円	2億4200万円	1億5400万円	4億5600万円	緊急性 A	住民参加状況等 一部住民参加している草刈りを他集落へも呼びかけ中である。								

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野		ため池の補強等(水路等の補強)				事業番号、事業名		3 県営ため池等整備(特定農業用管路等特別対策)				補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針						
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況									
1	みまきはら 御牧原  (東御市)	管水路工L=4,004m (工期:H20~H25)	管水路工L=685m	管水路工L=700m	管水路工L=700m	評価時 (当初) H23	87.4%	H24年度も引き続き管水路工を実施する。	既存施設はアスベストを含有する石綿管であり、近年は老朽化による破管が発生しているため、引き続き管水路工を実施し早急に更新する必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」						
						必要性 A	特記事項 H22計画変更(新たに石綿管の破管が発生した区間の取り込み)										
						重要性 A	事業量:管水路工L=1,164m増 事業費:3000万円増 工期:2ヶ年延長 H23変更(新たに石綿管の破管が発生した区間の取り込み) 事業量:管水路工L=200m増										
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.06										
	1億5900万円	3900万円	1900万円	2000万円	緊急性 A	住民参加状況等 関係区民代表者で実行委員会が組織されており、維持管理は関係区民・受益者で実施している。											
2	さきがなんぶ 笹賀南部  (松本市・塩尻市)	管水路L=1,950m (工期:H23~H26)	管水路補修30箇所	管水路工L=650m	管水路工L=1,950m	評価時 (当初) H23	13.5%	計画どおり進んでいる。 引き続き管水路工を実施する。	30年以上前に整備した畑かん施設が老朽化し、一部には石綿管も使用されているため、早急な更新整備が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」						
						必要性 A	特記事項 特に無し										
						重要性 A											
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.25										
	1億6300万円	2200万円	4100万円	1億4100万円	緊急性 A	住民参加状況等 土地改良区及び実行委員会が組織されており、維持管理は土地改良区中心で実施している。											
3	かんせんしせきば 幹線西洗馬  (朝日村)	管水路工L=700m (工期:H23~H25)	管水路工L=100m	管水路工L=450m	管水路工L=600m	評価時 (当初) H23	45.3%	計画どおり進んでいる。 引き続き管水路工を実施する。	石綿管や水管橋の老朽化により破管の危険性が高まっており、用水の安定確保と災害防止のため、管路の早急な改修が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」						
						必要性 A	特記事項 特に無し										
						重要性 A											
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.20										
	5080万円	2300万円	2500万円	2780万円	緊急性 B	住民参加状況等 土地改良区及び実行委員会が組織されており、維持管理は土地改良区中心で実施している。											
合計	3箇所	3億7280万円	8400万円	8500万円	1億8880万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満										

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野		ため池の補強等(水路等の補強等)		事業番号、事業名		3 県営ため池等整備(農村災害対策整備)		補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況					
1	こゝみほら 小海原  (小海町)	用水路工L=3,430m 土留工L=90m 管理道路工L=700m  (工期:H20~H24)	用水路工L=1,100m	用水路工L=1,149m 土留工L=80m 管理道路工L=700m	用水路工L=1,149m 土留工L=80m 管理道路工L=700m	評価時 (当初) H20	72.0%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約8割と取水工改修が完了し、引き続き用水路工及び農地保全工を実施する。	幹線配水管が損傷し、通水不能となっており、応急的に千曲川から用水を汲み上げて対応しているため、早急な改修が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
						必要性 A	特記事項 特になし						
						重要性 A							
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.15						
	2億6400万円	6000万円	7400万円	7400万円	緊急性 A	住民参加状況等 小海原水利耕作組合が中心となり施設の維持管理を実施している。							
2	ふじわらだ 藤原田  (立科町・ 上田市・ 東御市)	用水路工L=2,269m 土留工 N=3箇所  (工期:H22~H26)	用水路工L=842m	用水路工L=800m	用水路工L=1,172m 土留工N=3箇所	評価時 (当初) H22	50.0%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約1割が完了し、引き続き用水路工及び農地保全工を実施する。	農地の上段を流れる農業用用水路で溢水被害が頻発しており、緊急性が高いため、引き続き用水路工を実施する。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」		
						必要性 B	特記事項 特になし						
						重要性 A							
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.21						
	1億6000万円	5000万円	5000万円	8000万円	緊急性 A	住民参加状況等 立科土地改良区、藤原田区が中心となり施設の維持管理を実施している。							
3	ほんごう 本郷  (富士見町)	ため池改修工 N=3箇所  水路工 L=3,750m  (工期:H23~H27)	水路工 L=690m	水路工 L=300m	ため池改修工 N=3箇所  水路工 L=3,060m	評価時 (当初) H23	32.2%	計画どおり進んでいる。 H23年度に測量設計が完了し、一部水路改修工事に着手している。	ため池堤体からの漏水や、山腹水路への土砂崩落による溢水被害が発生しており、下流域の民家・公共施設等保全対象が多いことから、必要性、緊急性が高いため、引き続き排水路工等を実施する。	必要性、重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」		
						必要性 A	特記事項 特になし。						
						重要性 A							
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.77						
	2億3300万円	7500万円	2400万円	1億5800万円	緊急性 A	住民参加状況等 地域住民の内発的な活動が強くあり、各種調整等に積極的に関与し、事業実施に参加している。							
4	とばば 渡場  (伊那市)	排水路工 L=657m  (工期:H23~H25)	排水路工 L=120m	排水路工 L=450m	排水路工 L=537m	評価時 (当初) H23	24.8%	計画どおり進んでいる。 H23年度に測量設計が完了し、一部水路改修工事に着手している。	排水路の災害防止機能が低下しており、下流域の民家・公共施設等へ溢水被害が発生しており、必要性、緊急性が高いため引き続き排水路工を実施する。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」		
						必要性 A	特記事項 特になし。						
						重要性 A							
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.22						
	1億2100万円	3000万円	7600万円	9100万円	緊急性 A	住民参加状況等 地域住民の内発的な活動が強くあり、各種調整等に積極的に関与し、事業実施に参加している。							

分野	ため池の補強等(水路等の補強等)	事業番号、事業名	3 県営ため池等整備(農村災害対策整備)				補助・単独別		補助	農政部 農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
5	こまがね 駒ヶ根  (駒ヶ根市)	ため池改修工 N=3箇所 水路工 L=1,240m  (工期:H23~H27)	水路工 L=280m	水路工 L=170m	ため池改修工 N=3箇所 水路工 L=960m	評価時 (当初) H23 必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	19.8 %	計画どおり進んでいる。緊急性が高い水路について、H23年度に測量設計と一部改修工事を実施し、H24年度はその続きに着手する。  特記事項 特になし。  B/C(費用対効果)=2.24  [住民参加状況等] 地元説明会を行い、要望等を設計や工事に反映している。	ため池堤体の浸食による断面不足や漏水、用排水路の災害防止機能の低下による溢水被害が発生しており、必要性、緊急性が高いため引き続き用排水路等の整備を実施する。	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		4億400万円	8000万円	6650万円	3億2400万円							
6	おんだいすい 恩田井水  (阿智村)	用水路工 L=1,218m 農地保全工N=5箇所 管理道路工一式  (工期:H21~H26)	用水路工 L=313m 管理道路 付帯工一式	用水路工 L=313m	用水路工 L=1,068m 農地保全工N=5箇所 管理道路工一式	評価時 (当初) H21 必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	34.5 %	計画どおり進んでいる。用水路工(隧道)の工事に着手し、引き続き用水路工を実施する。  特記事項 特になし。  B/C(費用対効果)=1.61  住民参加状況等 恩田井水水利組合を中心に地域住民も一体となり維持管理を実施している。	地域唯一の農業用水源である隧道で崩落が発生しており、重要性、緊急性が高いため、引き続き用水路工を実施する。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		11億8000万円	2億円	1億3400万円	7億7300万円							
7	みたけ 三岳  (木曾町)	ため池工 N=1箇所 水路工 L=1,070m 土留工 N=1箇所  (工期:H22~H26)	水路工 L=200m	ため池工 N=1箇所	ため池工 N=1箇所 水路工 L=670m	評価時 (当初) H22 必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 A	33.1 %	計画どおり進んでいる。水路工改修の約3割が完了した。今年度は緊急性の高いため池の改修を実施していく。  特記事項 特になし。  B/C(費用対効果)=1.13  住民参加状況等 水利組合・地元住民による補修・維持管理を実施している。	山腹水路や県道を横断するサイフォンで、溢水や漏水等の被害が多発しているほか、ため池にも漏水や堤体の変形が見られるなど、農地や人家、県道に被害を及ぼす危険性が高いことから、早急に改修が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		1億5100万円	2000万円	3800万円	1億100万円							
8	いち(らたわき 一倉田和2期  (長野市)	用排水路工 L=2,375m 土留工 L=341m  (工期:H19~H26)	用水路工L=100m 土留工L=40m	用水路工L=600m	用水路工L=680m 土留工L=205m	評価時 (変更) H24 必要性 B 重要性 B 効率性 A 緊急性 A	55.7 %	用水路工改修の約9割が完了し、引き続き用水路工及び農地保全工を実施する。  特記事項 H24変更:用排水路工L=680m増、土留工L=499減、横孔ボーリング工L=900m減 工期2年延長 同一受益地に用水を供給する下段の山腹水路において新たな変状が発生したため、用排水路工の延長を伸ばす。また、現地精査により土留工や横孔ボーリング工を減工する。  B/C(費用対効果)=1.77  住民参加状況等 一倉田和水利組合と大岡米田和区で維持管理を実施している。	急峻な地形を流れる山腹水路であり、土砂崩落による溢水被害が発生しているため改修の必要性が高いため、引き続き用水路工等を実施する。	新たな区域に対する対策の必要性が認められる。	「拡大」	
		2億1920万円	2900万円	3800万円	9720万円							

分野	ため池の補強等(水路等の補強等)	事業番号、事業名	3 県営ため池等整備(農村災害対策整備)				補助・単独別		補助	農政部 農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
9	ひはら 白原  (長野市)	排水機場N=3箇所 ため池N=1箇所 用水路L=600m 土留工L=110m 排水路L=15m  (工期:H21~H26)	排水機場N=1箇所 用水路L=550m	排水機場付帯工N=1 箇所	排水機場N=2箇所 用水路L=50m	評価時 (当初) H21	50.0%	計画どおり進んでいる。 排水機場施設の工事が完了し、引き続き排水 機場の河川への放流施設工を実施する。	ため池堤体からの漏水 や厩川沿いで湛水被害 が発生するなど、緊急性 が高いため、引き続き排 水施設の整備を実施す る。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認められ る。	「継続」	
		4億6000万円	7000万円	2900万円	2億3000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=1.32				
10	ひがし(ろかわ 東黒川  (飯綱町)	ため池改修工 N=1箇所 排水路工 L=573m  (工期:H22~H26)	ため池改修工 N=1箇所	排水路工 L=573m	排水路工 付帯工	評価時 (当初) H22	46.9%	計画どおり進んでいる。 危険性の高いため池の工事を実施する。	ため池堤体の断面不 足や漏水の発生、排水 路等の災害防止機能が 低下しており、必要性、 緊急性が高いため引き 続きため池等の整備を 実施する。	緊急性が認められる。	「継続」	
		1億6000万円	6000万円	3800万円	8500万円	必要性 B 重要性 B 効率性 A	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=1.29				
11	したぎ 下堰  (木島平村)	用水路工 L=1,155m 土留工N=1箇所  (工期:H21~H24)	用水路工 L=440m 土留工N=1箇所	用水路工 L=189m	用水路工 L=189m	評価時 (当初) H21	78.4%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約8割が完了し、引き続き用 水路工を実施する。	山腹水路で土砂崩落 等が発生しており、緊急 性が高いため、引き続き 用水路工を実施し、24年 度完了を図る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」	
		1億200万円	3000万円	2000万円	2200万円	必要性 B 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=2.96				
12	おかやま 岡山  (飯山市)	農業用ため池整備 N=2箇所 農業用排水施設整 備 L=2,250m  (工期:H22~H26)	農業用排水施設 整備 L=652m	農業用ため池整備 N=1箇所	農業用ため池整備 N=2箇所 農業用排水施設整 備 L=1,108m	評価時 (当初) H22	32.8%	計画どおり進んでいる。 特に緊急性が高い施設から測量設計を実施 し、引き続き早急な対策を実施していく。	ため池堤体の体断面不 足や漏水、水路からの溢 水や土砂崩落が毎年発 生しており、このまま変 状が拡大すれば、人家 や農地・県道への土砂崩 落といった災害へとつな がる危険性が高いため、 引き続きため池等の整 備を実施する。	必要性が高く、重要 性、緊急性も認められ る。	「継続」	
		3億9600万円	8000万円	1億円	2億6600万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=2.07				
合計	12箇所	38億5020万円	7億8400万円	6億8750万円	23億120万円			A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満				



(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野		ため池等の補強				事業番号、事業名		3 県営ため池等整備(河川応急)		補助・単独別		国補		農政部 農地整備課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況							
1	よきわ 寄沢  (大町市)	頭首工 1箇所 水叩工 1式 護床式 1式  (工期:H23~H24)	水叩工 1式	護床工 1式	護床工 1式	評価時 (当初) H23	50.0%	計画どおり進んでいる。	施設底部の洗掘が進行し不安定な状況から、早急に改修する必要があるため、平成24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」				
						必要性 A	特記事項 特になし								
						重要性 A									
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.45								
	8400万円	4200万円	4200万円	4200万円	緊急性 A	住民参加状況等 大町市土地改良区等の意見を計画に反映させる。									
2	ほろこやまき 樺小屋塚  (松本市)	排水樋管L=14.4m 排水樋門1基  (工期:H23~H24)	測量設計・河川協議	排水樋管L=14.4m 排水樋門1基	排水樋管L=14.4m 排水樋門1基	評価時 (当初) H23	27.8%	計画どおり進んでいる。 必要な河川協議をすすめ工事に着手する。	老朽化及び河川構造令に合致していない施設の全面改修を早期に実施する必要があるため、平成24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」				
						必要性 B	特記事項 H24変更:詳細設計により工事費の増額。								
						重要性 A									
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.57								
	1800万円	500万円	1300万円	1300万円	緊急性 A	住民参加状況等 松本市等の意見を計画に反映させる。									
3	あきわら 萩原  (安曇野市)	排水樋管L=21.1m 排水樋門1基  (工期:H23~H23)	休止	中止	中止	評価時 (当初) H23	0.0%	事業着手ができなかった。	事業実施は困難なため、中止とする。	事業を中止とする。	「中止」				
						必要性 B	特記事項 河川管理者(国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所)からの改善要求に基づき実施する事業であるが、用地上の問題により事業着手の目処が立たないため、本事業は中止する。(河川管理者了解済)								
						重要性 A									
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.35								
	4000万円	-	-	-	緊急性 A	住民参加状況等									
合計	3箇所	1億4200万円	4700万円	5500万円	5500万円	A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満									